

授業科目名	観光プロジェクト立案演習	担当教員	島津 太一
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	演習		
開講年次	3年 第3クォーター		
講義内容	<p>地域にある観光・文化・芸術資源を題材に、チームで観光プロジェクトを企画・立案する実践的な科目である。</p> <p>観光の仕事は、商品やサービスを考えるだけでなく、誰に届けるのか、どう運営するのか、収支は成り立つのかといった点まで含めて考える必要がある。本演習では、大学周辺地域を主な対象として、実際の地域課題や観光の現状を踏まえながら、実現可能性のあるプロジェクトを事業計画としてまとめていく。</p> <p>文献やデータの調査、フィールド調査、グループでの議論を重ねながら、企画を具体化していく過程を重視する。また、データやデジタル技術を観光プロジェクトにどのように活用できるかについても考える。地域や関係者との関わりを意識しながら、現場で役立つ企画力を身につけることを目指す。</p>		
到達目標	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光プロジェクトや観光系事業が、どのような流れで成り立っているのかを理解する 地域観光の考え方や特徴について理解する <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の情報を調べ、課題や可能性を整理することができる チームで協力し、実現性を意識した観光プロジェクトを企画できる 企画内容を資料にまとめ、分かりやすく説明・発表できる <p>【態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域や他者の意見に耳を傾け、主体的に取り組む姿勢を身につける チームの一員として責任を持ち、協力して課題に取り組む 		
授業計画	<p>第1回 テーマ：ガイダンスと演習の進め方 主な内容：授業の目的説明／観光プロジェクトの考え方／チームづくり ポイント：この演習で何を学ぶのかを理解する</p> <p>第2回 テーマ：地域と観光の現状を知る 主な内容：地域の観光資源や動向の調査／既存事業の整理 ポイント：主観ではなく、情報やデータから客観的に地域を見る</p> <p>第3回 テーマ：フィールド調査と課題設定 主な内容：現地調査やヒアリング内容の共有／課題の整理 ポイント：現場で得た気づきを企画につなげる</p>		

	<p>第4回 テーマ：企画アイデアを形にする 主な内容：観光商品・サービスのアイデア出し／ターゲットの検討 ポイント：利用者の視点を意識して考える</p> <p>第5回 テーマ：事業計画を考える（中間案） 主な内容：内容・運営方法・広報の整理／中間案作成 ポイント：実行できるかどうかを意識する</p> <p>第6回 テーマ：中間発表とブラッシュアップ 主な内容：中間案発表／意見交換／計画の修正 ポイント：指摘を前向きに受け止め、企画を深める</p> <p>第7回 テーマ：最終案のまとめ 主な内容：事業計画の完成／発表資料の作成 ポイント：伝わる構成と表現を工夫する</p> <p>第8回 テーマ：成果発表と振り返り 主な内容：最終発表／講評／演習の振り返り ポイント：自分たちの学びを振り返り、言葉にする。 ※学生はフィールドに出て調査等を行う場合もある</p>
事前・事後 学習	対象地域や観光商品・サービスに関する情報収集や文献調査を行い、授業後は調査結果や議論内容を整理しながら、グループで企画案や事業計画の改善・発表準備を進めること。
テキスト	特になし
参考文献	授業を進めながら学生の興味関心に沿って参考文献を提示する
成績評価 の基準	事業構想力（40%）、事業計画の精度（30%）、協働する力（30%）
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	観光分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	